



## シリーズ 先輩に感謝!

今日のろう学校・ろう教育の輝かしい伝統をつくった先輩を紹介します。

### これまでの人生・これからの人生

長崎県立ろう学校卒業生：久住呂 孝さん

#### 📌 これまでの人生概略

幼稚園から専攻科まで、長崎県立ろう学校で学びました。卒業後の進路は、県内で決めており、1社目では、落ちましたが、2社目で、内定をもらうことになり、コマツ電子金属(現 SUMCO)に入社しました。そこで、色んな壁にぶつかりました。いずれ、皆さんの中にも経験することがあるかもしれませんので、ここでは詳しいことはいわないことにしたいと思います。聞こえない世界から聞こえる世界に入ることになり、考え方や価値観の違いに戸惑う日々でした。それを自他共に理解していないため、周囲の人と揉めることも…

#### 📌 仕事をする上で

資格についてですが、実際には聴こえる人も聴こえない人もどちらも取れる資格が多くあります。そのため、人事に要望を出し、これまで聴覚障害者としてはいなかった資格について取得することが認められるまで繰り返し説明し、やっと資格を取得できる環境を整えて頂くことができました。その苦労があったからか、自分でいうのも何ですが、人生で初めてといてもいいぐらいの猛勉強をして、資格を取得しました。

その資格(『自主保全士(1級)』)取得を契機として、社会人としての自分に自信を持つことができるようになりました。

聴こえないからできないではなく、聴こえなくてもできるのだという姿勢で、あきらめずに進んでいくことで、キャリアアップにつながるということを感じています。

#### 📌 趣味を持つこと

小さいときから、サッカーが好きで、サッカーは続けています。自分で、サッカークラブを探し、大村のあるサッカークラブに入ったり、会社の人から誘われ、会社主体のサッカーチームに入ったりしました。このことは、人とのつながりの幅をひろげることに役立っているよう感じています。

#### 📌 今の私・これからの私

世界の状況もあり、14年勤めた会社を退職することになりました。退職したときは、とても不安でしたが、自分を鼓舞して新しい会社を探し、現在勤めている会社に入社することができました。

現在8年目になりますが、まだ馴染めない部分があり、実際のところ、もがき苦しんでいます。しかし、会社を通し、いろんな人と繋がれたのが一番大きい自分の支えになっているように思います。私の会社は、全国各地にあるのですが、各地の会社に聴覚障害者が雇用されています。その方々と知り合うことができ、お互い、励ましなが、業務に励むことができています。

辛抱は、大事ですが、何かを始めるときのきっかけに気づくには、自分を見失わないことが、大事なポイントだと私は思います。

何が起きるのか?わからない。これがあるから、これからの人生が楽しいものに思えるのです。

#### くじゅうろ たかし 久住呂 孝さんのプロフィール

- 生まれ：昭和53年(1978年)3月20日  
波佐見町
- 学 び：幼稚部から専攻科までの17年間  
長崎県立ろう学校 通学
- 卒業後：コマツ電子金属(現 SUMCO)に入社し、14年間勤務。現在は、県内の大手保険会社に「営業サポート」として勤務



写真：三井住友海上火災保険株式会社勤務 久住呂 孝さん  
風景は、職場へ向かう通勤の道(JR 通勤)

#### くじゅうろ たかし 久住呂 孝さんからのコメント

私は時間ができると、サッカーを楽しんでいます。皆さんの中で卒業後、諫早市や大村市にある会社に勤務する方がおられましたら、一緒にサッカーを楽しみませんか?共にプレーできる日を楽しみにしています。

# 補聴器ウィークの取組の紹介

本校では、7月の第1週を補聴器ウィークとし、補聴器や人工内耳に関することを学部別に学習しています。その様子をお伝えします。

〔幼稚園部〕「補聴器や人工内耳」は、音を聞くためにつけるという説明をイラストや文字をまじえて聞き、〇×クイズで正しい扱い方を学びました。またイヤモールドの洗い方を知り、実際に歯間ブラシを使って洗いました。



〔小学部〕小学部では、合同自立で学んだ「補聴器・人工内耳の扱い方」や「会社名・機種名」で、〇×クイズ大会を行いました。補聴器や人工内耳を知ることとても大切な内容だったのでしっかり確認ができました。毎年確認をしていきましょう。



〔中学部〕学習会では、補聴器や人工内耳の管理の大切さを学習しました。また、障害による困難さに気づき、必要な支援を考えました。個々の聞こえの状態を伝えた上で、コロナ禍でマスクを付けていてもコミュニケーションがとれる具体的な支援を求める言葉を考えることができました。

人工内耳クイズ  
機能と各部の名称を一致させよう

- ①周りの音を受け取る場所
- ②電気信号を頭の中に埋め込んだ受信機に送るところ
- ③自動車のガソリンのように人工内耳を動かすエネルギーのところ
- ④耳から外れないように、固定するもの
- ⑤送信コイルまでの電気信号の通り道
- ⑥音を電気信号に変換するところ

他者立場のコミュニケーション

自分の障害の状態を伝えること、どうしてほしいか

場に応じて支援を頼む

僕は耳が聞こえなくて、分らないので、あなたについて行くのも良いですか？

〔高等部〕今年は、「補聴器や人工内耳の活用を促し、自身の聞こえについて知る」をテーマに取り組みました。学習会や掲示物の閲覧をとおして、自分の聞こえの状況や支援の求め方などを学習しました。また、自分の聞こえを他者にどのように説明するか考えました。

